大阪大学経済学研究科/経済学部

部局間協定校派遣生の海外留学体験

１．基本情報

体験談記入日（☆）	2025 年　 1 月　 10 日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	4 年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑交換留学　 □　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	フランス
滞在都市（☆）	リール
留学先大学等名（☆）	EDHEC Business School
留学先での所属学部/研究科（☆）	Master in Management1- Business Management Track
留学先で主に使用した言語	学校：英語　日常生活：フランス語、英語
渡航先への入国日（☆）	2024 年　 8 月　25 日
渡航先からの出国日（☆）	2024 年　 12 月　19 日
渡航先国での滞在期間（☆）	約 4 か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無し
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	SOCIO-CULTURAL FRANCE
履修期間	1 セメスター
授業時間（〇分×△回）	3 時間×12 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー＋グループワーク
取得単位数	6ECTS
履修科目名称	FRENCH LANGUAGE COURSE BEGINNERS
履修期間	1 セメスター
授業時間（〇分×△回）	2～3 時間×10 回程度
授業形態（講義・セミナー）	セミナー＋グループワーク
取得単位数	5ECTS
履修科目名称	CORPORATE FINANCE
履修期間	1 セメスター
授業時間（〇分×△回）	3 時間×7 回＋10 時間程度の個人ワーク
授業形態（講義・セミナー）	セミナー＋授業内での課題＋オンラインの個人ワーク
取得単位数	4ECTS

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	MARKETING MANAGEMENT 1セメスター 2～3時間×10回程度 セミナー＋チームワーク 4ECTS
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	BUSINESS GAME REVAS 1セメスター 合計10時間程度 オンデマンドグループワーク 2ECTS
留学生（日本人）の割合	マスターの授業内には5%程度。BBAのクラスにはもう少しいたみたいです。留学生向けの授業はもちろん留学生のみ（フランス語や、フランスの文化についての授業）
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	授業によりますが、概ね大阪大学と同じような評価方法です。中間テスト、期末テスト、出席、課題。
履修科目の制限等（あれば）	20ECTS以上は取得しなければならない。（ECTSはEDHEC特有の単位数）
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	英語トラックだったので、先生も生徒も英語を使用しています。ただグループワークなどの際にフランス人同士でフランス語を話し、理解できない場面もありました。
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	フランス語の授業は日常生活を送るうえで非常に役立ちました。チューター制度などはありませんでしたが、ISOという留学生サポートのオフィスがあらゆる面でサポートしてくれました。
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	現地の人と受ける授業は特に留学生だからといって 区別されたり、特別扱いをされたりすることはありませんでした。
その他	大阪大学の授業の大きな違いは授業の時間が〇曜日〇限と決められていないことです。授業はランダムにあり、急に変更になることもあります。

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	カフェテリアはありますが、利用したことがありません。(高いので) コンビニのような小さなスーパーがあり、それを利用していました。

図書館について	大阪大学のように大きくありませんが、集中したいときには利用していました。テスト期間は非常に混雑しています。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	週に 1 回ずつ看護師と医者が来るようですが、その決められた日になって急に来ない、ということばかりで、あまり役に立ちません。
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	たくさんのクラブ活動がありますが、かなりのチーム貢献度が求められ、他のことに割く時間が無くなるそうです。留学生で入っている人は聞いたことがありません。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	留学生のサポートは非常に充実しています。ISO（留学生向けのオフィス）が渡航前の住居探しから保険まで手厚いサポートをしてくれます。
オリエンテーション等学校主催の行事について	8 月末に多くの学生と出会える機会が数回ありました。しかしそれ以降はあまりイベントが少ないので、最初の段階で友達作りを頑張る必要があります。
現地の学生との交流について	現地の学生とはあまり関わる機会がありませんでした。授業で同じグループになり、顔見知り程度になることはあっても基本フランス人はフランス人と過ごしたがります。
他の留学生との交流について	たくさんの友達を作ることができました。留学中にできた友達と沢山旅行に行きました。
学外での活動について（地域コミュニティー活動等）	ERASMUSLILLE という団体が開催しているイベントやツアーに沢山参加していました。おすすめです。価格も安く、異なる大学のリールに来ている留学生の友達と知り合うことができます。
長期休暇中の過ごし方	旅行に行きました。ヨーロッパはほかの国へのアクセスが非常によく、また長期滞在ビザを持っていることで、色々な観光地が EU 市民価格になりました。
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	長期滞在学生ビザ
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	1. ビザ申請前に Etudes en France で手続きをする。 • フランス、長期学生ビザの申請方法　前編	Lapin 🐰 • https://www.japon.campusfrance.org/system/files/medias/documents/2024-06/Echange-2024-modifie.pdf

	2. Etudes en France で手続き料金支払い完了後、大使館（東京）にビザ申請日時の予約ができるメールが届く。 • 入国日の約 1 カ月半前までに済ませる。 • 申請日時の時間枠が限られているため、早めに予約しておくべき。7～8 月は留学生の申請が殺到するため、1 か月以上先の予約しかできないこともある。 • 東京に行く必要があるため、時間に余裕をもって前々から Etudes en France での手続きや書類など準備しておく必要がある。
利用航空会社	エミレーツ航空
入国の際の現地空港名	関西国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	私は直接滞在先に行っておらず、到着してパリに 1 日滞在しました。空港からパリまではタクシー。パリからリールまではバスとタクシーで 4 時間程度でした。
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	パスポートぐらいだったと思います。 質問はされた記憶がありません。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	長期学生ビザを有効にする手続き
その他	

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有　(無)
奨学金名	大阪大学経済学部の奨学金のみ
奨学金月額受給額（円）	18 万（1 回）
入国時に用意した金額	70 万くらい（？）
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	日本のクレジットは保険がついているという面で優れている一方、海外取引手数料が高いので私はほとんど利用していませんでした。WISE のアカウントを渡航前に作り利用していました。
留学中に利用した銀行名	三井住友銀行
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	開設していません。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	支払いには WISE を利用していました。 海外手数料がかからず、海外送金が無料なので。 REVOLUT も住宅補助を受けたり、保険に加入するために作りました。どちらもデビットカードです。

日本からの送金方法について	日本の銀行（三井）から、WISE に送金し WISE で支払いを行っていました。
1ヶ月の生活費（目安）	30 万程度（旅行も含めて）
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	学生寮（キッチンのみ共用・一人部屋あり）
家賃	550€（水道、光熱費込み）
住居を探した方法・時期	5 月中旬
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	キャリーバック二つ渡航時に持って行ったものだけでいけました。あとは現地調達しました。
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	朝食は寮で提供されていました。昼食、晩御飯は自炊しました。
1ヶ月の食費	3 万くらい。
その他	

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	フランスの通信会社で 4 か月契約しました。（FreeMobile）
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	寮と学校には WIFI がありました。 ヨーロッパはどの通信会社でも、建物内や、田舎の地域、地下ではつながらないことがよくあるので困ります。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本から持って行ったものを利用していました。学校の貸し出しはないみたいです。
郵便について	学校に郵便局があるので、日本に何度か手紙を送ったりしました。
交通機関について	バス、地下鉄、路面電車は同じ会社が運営しているため、チケットの買い方はわかりやすいです。通学に交通機関を使う学生は定期券のほうがお得ですが私は徒歩だったため回数券を購入していました。
治安について	リールはパリに比べて治安はいいほうですが、決して安全ではないと思います。夜と早朝はなるべく一人で歩いたり、駅

	に行かないようにしていました。
保険について	留学生も無料のフランスの公的保険に必ず入るように言われます。病院が 3 割負担になります。しかし費用によっては 3 割すべてカバーされなかったりするので、日本かフランスの民間保険にも入る必要があります。
医療機関・薬について	病院に何度か行きましたがフランスで一番苦労しました。 受付の人は全く英語が喋れません。お医者さんもそこまで英語が流暢ではなかったので、うまくコミュニケーションが取れませんでした。また予約のシステムがとても難しくストレスを感じていました。
気候と服装について	8, 9 月はとても暖かく、日も長いので過ごしやすかったです。10 月中旬頃から寒くなりましたが、12 月になっても私が想像するほど寒くなることはありませんでした。関西の冬と同じくらいです。ただ雨が非常に多いです。
普段の買い物について	学校周辺で食料品は調達し、服や日用品はリール中心のショッピングモールで買うことが多かったです。
娯楽・行事について	授業がない平日は、パリに行くことが多かったです。 パリは何回行っても楽しいです。学校の行事は最初のオリエンテーションが終わるとほとんどありませんでした。
日本語の使用について	日本から来たほかの大学の留学生と仲良くなったので、日本語を使うことは少なくありませんでした。また日本にいる家族や友達と電話などもしていたので、日本語も頻繁に使用していました。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	電子レンジで白ご飯が炊ける容器を持っていき重宝していました。リュックサックは防犯上危ないと聞いていたので持っていきませんでしたが、後悔しました。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	大阪大学が無料で vpn（日本の回線を通して通信すること）を提供していることを知らなかったので、もう少し早く知っておきたかったです。
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	就職活動を終えてから留学しました。

留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	無

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	フランス語の基礎だけDuolingoを利用して学んでいきました。
留学中の学習方法、工夫したこと等	図書館でよく勉強するようにしていました。同じ授業内で留学生の友達を見つけてその友達と相談して勉強していました。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	渡航直後に比べると、現地の人が話す会話を少し理解できるようになりました。英語に関しては、授業よりも友達と英語で会話することで、コミュニケーション能力が向上しました。

８．その他

留学して得られたこと	異なる環境下、特に日本語も英語も伝わらない環境で不測の事態が起こった時に自分でどうにかする、解決するという力が身につきました。留学中は常にヒヤヒヤで旅行に行く度になにかハプニングが起きるということが珍しくなかったので、そのたびに自分で解決策を見出して乗り越えていく必要がありました。
留学中に困ったこと	・ヨーロッパの通信環境の悪さには困ることが多かったです。どのキャリアの通信を使っても、基本どこでも快適に使用できるということがないのがヨーロパみたいです。地下や、田舎の方、混雑しているところはマップを使いたいときなど非常に困りました。 ・日本食はあるものの、ほとんどラーメンと寿司で日本食ならではの家庭料理のようなものがすごく恋しかったです。お肉の種類が日本とかなり違うので作れるものに限りがあり、毎日安く済むパスタばかり食べていました。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	キャンパスフランス（@campusfrancejapon）のユーチューブを留学前色々な手続きを行う際に見ていました。

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。

私は4年の8月末からフランスのリールにあるEDHEC Business Schoolに1セメスター留学

していました。

留学は小さいころからの夢で、大学生の間に絶対行こうと決めていました。当初は 1 年早い 3 年生のタイミング、また英語圏の大学に行こうと考えていましたが、語学要件、就職活動など様々な理由で断念しました。しかし 4 年後期のタイミングでの留学は自分にとっては良い選択だったと思っています。就職先が決まってからだったので、就職活動のことを気にせず留学に集中できましたし、大阪大学での単位も取り切っていたので日本でバイト尽くしの生活よりも有効に時間を使うことができました。

また、最初は英語圏を志し、英語の上達を目指していましたが、留学を終えた今、フランスに留学して本当に良かったと思っています。理由は 2 つあります。一つ目は困難を乗り越える力がついたことです。特にフランス語という全く無知の言語（第二外国語は中国語だったので本当に何も知らない状態でした。）の地域に行くということは生活の面で様々な困難がありました。例えば洗濯機を回す、電車に乗るといった簡単なことであっても携帯電話で翻訳しなければいけません。どこでも電波がいいわけではないので、時には翻訳ツールを使うことすらできないこともありました。またフランス人は英語をしゃべってくれない、とよく言うと思いますが、実際にそういった場面も体験しました。今まで日本にいるときは普通にできていたこと一つ一つを何も知らない言語環境の中で行うということは、私に生きる力をつけてくれました。二つ目は EU 圏に住むならではの恩恵をたくさん受けることができたことです。留学するにあたり、長期学生ビザを取得しました。EU 圏では EU 住民に対して観光地のチケット料金をはじめとした様々割引やサービスがあります。ビザを持っていれば日本から旅行するよりも断然お得に旅行することができるとともに、日本という島国に住んでいる私にとって手軽に陸続きの色々な国へ行くということは新鮮でとても楽しかったです。

EDHEC Business School は年々世界的な評価が高まっており、Master in Management における大学ランキングでは首位に上りつめているようで、実際にそのレベルの高さを授業内で体感することができました。授業内容は大阪大学で学んだことがある分野もありましたが、日本語でさえ難しかった内容（特にファイナンスの計算など）を英語で学ぶというのは難しかったです。単語一つ一つを日本語で学んだどの単語にあたるのか確認しながら授業に臨む必要がありました。国が違えばグループワークの雰囲気も日本とは異なるので大変なこともありましたがなんとか乗り越えることができました。

この留学を通して日本ではできない色々な経験をし、自己成長できたと思うところがたくさんあります。上でも少し述べましたが、特に非常の事態、不測の事態に対応できる力は身についたと思います。社会人になり、慣れない環境で不測の事態が起きたとしても、フランスの時何とかなったんだから、大丈夫という気持ちで、自己解決力を発揮したいと思います。また、フランスは移民の受け入れに積極的な国なので、多様な国籍の人が共存し、多様な文化に触れることができました。治安面などはその分日本よりも悪く、良い点悪い点があるとは思いますが、フランスに行くことで改めて日本は閉鎖的な国だと感じました。ただその異なる文化に触れることで、日本の文化の良さを再認識する場面も多々ありました。日本人の礼儀の良さ、他

人を思いやる気遣い、マナーやルールがきちんと機能しているところなど、日本にしかない良さがあるなと感じました。

最後に今留学を考えている人には是非行くという決断を思い切ってしてほしいと思います。留学を決断するまでは金銭的なことだったり、手続きが面倒くさいであったり、就職活動だったり…様々な障壁があって決断を先延ばしにしてしまうことがあると思いますが、思い切って留学するという決断さえしてしまえばそのあとは意外と何とかなります。というのも学生の間は本当に生活が柔軟的でもし時間が足りなければ在学期間を延ばすこともできれば、平日休日関係なく自由な時間もあります。働き始めると自由な時間が減り、海外にこんなに長期間行くことができる機会は少ないと思います。卒業まで学生というアドバンテージを存分に使ってください。